

別府医療センターで感染症治療を受けられた患者さんへのお知らせとお願い

当院では、「血液培養陽性患者への抗菌薬適正使用支援チーム（antimicrobial stewardship team：AST）の活動とその評価」を行います。

当院では、治療効果の向上、副作用防止、耐性菌出現のリスク軽減を目的として、医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師により構成された抗菌薬の適正使用を支援するチーム（AST）が活動しています。主な活動内容は、抗菌薬ラウンドを通して適切な抗菌薬と投与量についての情報提供や、起因菌と薬剤感受性と病状により、抗菌薬の適正化を提案・推進しています。また、抗菌薬の適正使用についてスタッフへの教育・啓発活動を実施しています。

今回、血液培養陽性患者を対象として、AST 活動前後を比較することで、広域抗菌薬の使用状況について検討し、当院における AST 活動の評価を行いたいと考えています。

そのため、カルテに保管されてある抗菌薬に関連するデータを使用させていただきます。研究成果の公表に関しては、個人情報保護法に基づいて、個人が特定できるような研究結果は一切公表いたしません。また、ご自分のデータが研究の対象となると思われ、研究に使用してほしくないとお考えになる方は、以下の連絡先までご連絡お願いいたします。研究へのご協力が得られない場合でも、診療等での不利益などの影響は一切ありません。

研究課題名：血液培地陽性患者への抗菌薬適正使用支援チーム（antimicrobial stewardship team：AST）の活動とその評価

研究期間：2019年8月1日～2020年3月31日（予定）

研究代表者：山科卓也（やましな たくや）

国立病院機構別府医療センター薬剤部

〒874-0011 大分県別府市内かまど 1473

TEL 0977-67-1111 (代表), FAX 0977-67-5766 (代表)

[広域抗菌薬]

この研究で対象と成薬剤は、

「メロペネム注」、「イミペネム注」、「フィニバックス注」および「ゾシン注」

の4品目です。

尚、対象となる患者さんは、当院で血液培養が提出され、上記の抗菌薬用いた治療を受けられた患者さんが該当します。